



巴菲特流日本株投資術

目次

1. おすすめしたい投資戦略アイデア
2. どんな銘柄を狙うのが良いか？
3. 益嶋の考える“バフェット流”とは？
4. 実践！“バフェット流”投資術
5. 実際の分析事例のご紹介
6. “バフェット流”を実践するために作り上げたツール

1. おすすめしたい投資戦略アイデア

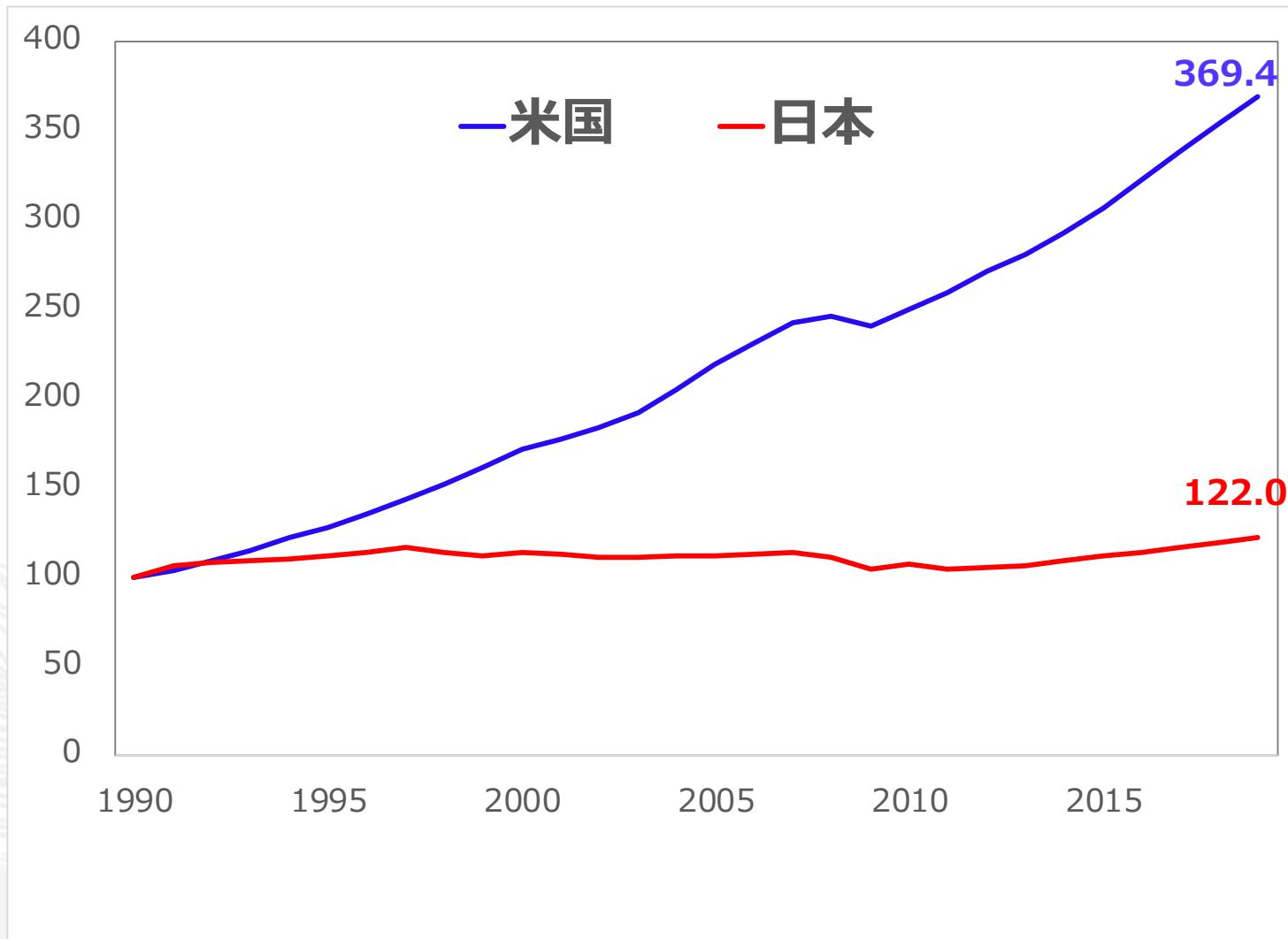
ダウ平均 vs 日経平均 (1989年末=100)



(出所) Bloombergデータよりマネックス証券作成

なぜこんなにも差が開いたのか？

米国 vs 日本 名目GDPの推移 (1990年=100)



(出所) IMF発表データよりマネックス証券作成

今後日本の経済成長が長期的に 米国を上回ることはできるか？

YES !

資産形成のウェイトを
日本株 > 米国株に

NO !

資産形成のウェイトを
日本株 < 米国株に

米国株と日本株を比較してみる

日本

米国

経済成長



指数上昇の実績



情報取得のしやすさ



日本に暮らしている以上、
情報取得のしやすさは圧倒的に日本株についての方が
上回っています。

おすすめしたい投資戦略アイデア

- ・ 今後も堅調な経済成長を期待しやすい米国
→低コストETF等への投資で資産のコアを形成して市場の成長と同様のパフォーマンスを狙う
- ・ 市場全体の成長は期待しづらい日本
→情報取得に優位性がある日本の個別株を厳選して資産のサテライトとして積極的にリターンを狙う

2. どんな銘柄を狙うのが良いか？

**指数が上がりにくい以上
個別銘柄も上がりにくいということでは？**

TOPIXの値

2002年12月 : 843.29

2012年12月 : 859.80

10年で2%しか上がっていない

ではこの期間に上昇した銘柄の割合とは？

①約20%

②約35%

③約50%

④約65%

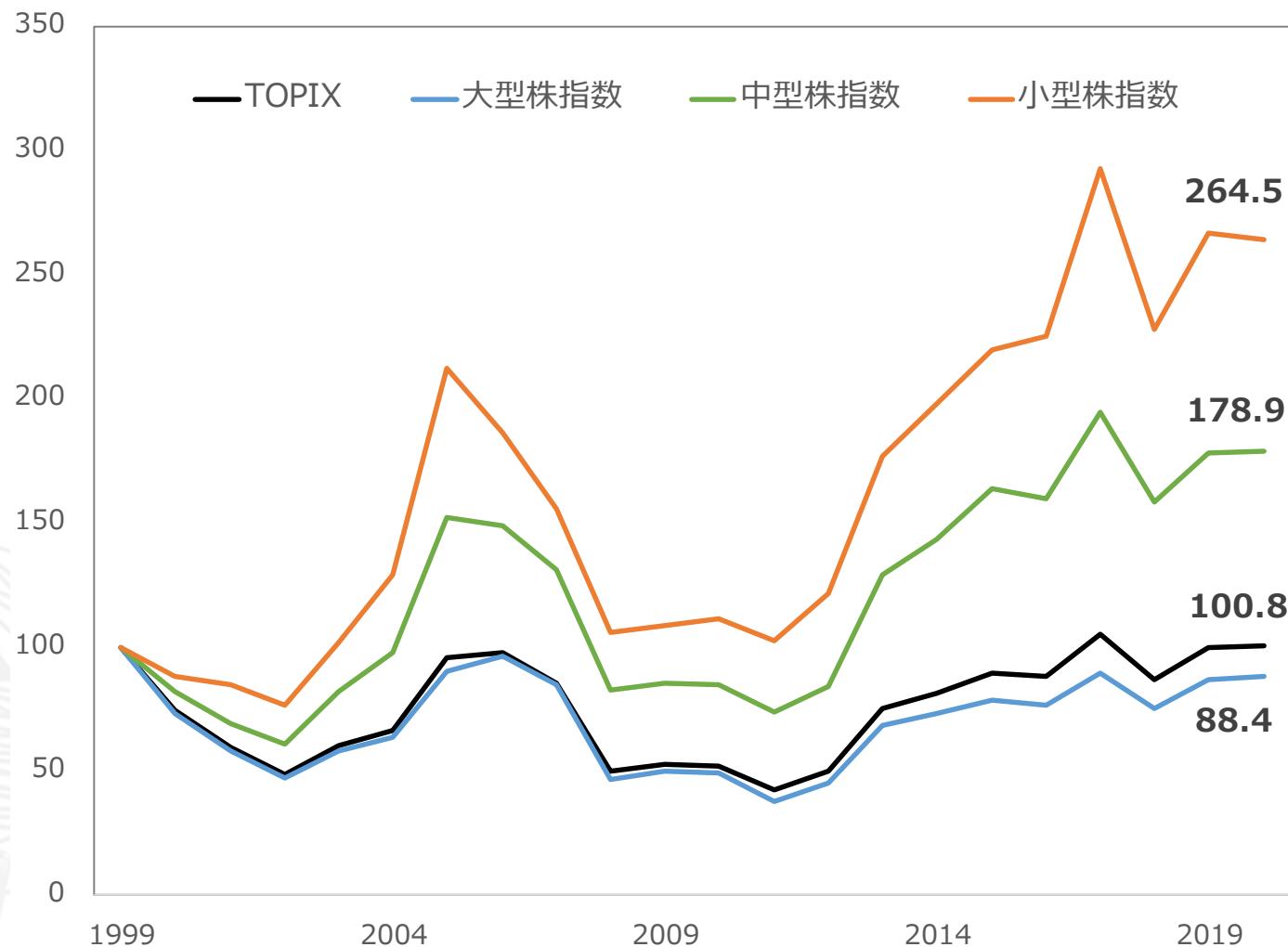
2002年末時点の時価総額	銘柄数	上昇銘柄数	下落銘柄数 (変わらず含む)	上昇銘柄の割合	単純平均騰落率 (下落銘柄も含む)
全体	2,185	1,385	800	63.4%	+59.2%
大型株 3000億円以上	144	73	71	50.7%	+24.7%
中型株 300億円以上 3000億円未満	539	304	235	56.4%	+35.2%
小型株 300億円未満	1,502	1,008	494	67.1%	+71.8%

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成
2002年末時点で上場しており2012年末の株価と比較できた2,184銘柄について集計

**全体でも6割強、小型株は7割近く
が上昇**

**→時価総額の大きい一部の銘柄が
指数の足を引っ張っていた。**

東証規模別指数の推移 (1999年末=100)



(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成

中小型株を積極的に選好するべき理由

- ・中小型株の多くは証券会社のアナリストがカバーしておらず、株価の効率性が低い。
- ・時価総額1兆円→5兆円は極めて難しいが、100億円→500億円は起きやすい。
- ・中小型株には我々の生活に身近な銘柄が多く、分析しやすい。

3.益嶋の考える“バフェット流”とは？

バフェット流とは何か？



ウォーレン・巴菲特 (Warren Buffett)

- ・ 1930年8月30日生まれ
- ・ 米国のネブラスカ州オマハ出身
- ・ 投資会社バークシャー・ハサウェイの会長兼CEO





ウォーレン
バフェット

投資家の目的は、簡単に理解できる事業を行っていて、5年・10年・20年後に今よりもっと利益を稼いでいる企業の株式を適切な価格で買うことである。

(出所) 1996年「株主への手紙」より マネックス証券が和訳

ある3社の業績の推移

ファーストリテイリング（9983）の業績

通期業績推移



（出所）マネックス銘柄スカウター

5年前から利益は約1.5倍に増加

ユナイテッドアローズ（7606）の業績

通期業績推移



5年前と利益がほぼ変わらず

(出所) マネックス銘柄スカウター

しまむら (8227) の業績

通期業績推移

業績

前期比

指数

利益率

5期

10期 すべて



決算期	売上高 ▲	(前期比) ▲	営業利益 ▲	(前期比) ▲	経常利益 ▲	(前期比) ▲	当期利益 ▲	(前期比) ▲	EPS ▲	BPS ▲
2015/02	511,893	2.0%	36,823	-12.1%	38,601	-12.3%	23,288	-12.4%	633.7円	7,810.1円
2016/02	546,058	6.7%	39,913	8.4%	40,709	5.5%	24,747	6.3%	673.4円	8,294.6円
2017/02	565,469	3.6%	48,794	22.3%	50,079	23.0%	32,862	32.8%	894.2円	9,015.9円
2018/02	565,102	-0.1%	42,896	-12.1%	43,920	-12.3%	29,717	-9.5%	808.6円	9,607.4円
2019/02	545,996	-3.4%	25,451	-40.7%	26,245	-40.2%	15,996	-46.2%	435.3円	9,770.2円
2020/02予	528,090	-3.3%	25,900	1.8%	26,620	1.4%	16,105	0.7%	438.2円	-円

5年前から利益が大きく減少

(出所) マネックス銘柄スカウター

この3社の株価動向は？

分析チャート



中長期的に株価を決めるのは企業業績

▶追うべきは株価ではなく未来の業績

益嶋の考える“バフェット流”

- (1) 定量的・定性的に徹底的な調査・分析をして高い成長性を持つ企業を見つける。
- (2) 過度に割高でないタイミングで買う。
- (3) 決算発表をチェックしながら成長性や割高さを確認し長期的に保有する。

4. 実践！“バフェット流”投資術



素晴らしい会社を適正な価格で買
う方が、並の会社を安く買うよりも
ずっと良い。

(出所) 1989年 「株主への手紙」の一節をマネックス証券が和訳

(1) 定量的・定性的な分析による成長性の見極め

✓ シンプルで理解できる事業を行っているか

✓ 過去に長期間の安定した事業実績があるか

✓ 事業の社会的ニーズや他社のマネしづらさ

✓ シンプルで理解できる事業を行っているか

- ・そもそも自分が理解できる事業を行っている会社でなければ、将来の予想などしようがない。
- ・バイオや専門的なBtoBビジネスなど、ご自身で理解しづらい企業は避けたほうが無難。

この会社の事業の将来を予想することはできますか？

☆ 4585 UMNファーマ

医薬品 株価を見る □

☆をクリックするとお気に入りに登録（解除）ができます。☆は登録された状態では橙色、解除された状態では無色となります。

株価 (01/21)	536円	PER (予)	-9.2倍	予想経常利益 (予)	-891	レーティング	--
時価総額	95億円	PBR (実)	-50.92倍	(増益率)	(-46.3%)	(対前週変化)	(--)
ROE (実)	-199.45%	配当利回り (予)	0.00%	予想経常利益 (コ)	--	目標株価 (コ)	--円
ROA (実)	-47.46%	自己資本比率	31.7%	(増益率)	(--)	(株価乖離率)	(--)

※経常利益単位は百万円

更新日：2020/01/21

企業分析 セグメント業績 業績予想修正 配当 アナリスト予想 株価指標 業績ニュース 適時開示

企業情報

企業概要	新世代ワクチン研究開発会社。次世代ロジカルワクチンのコアとなる組換えタンパク抗原製造をコアプラットフォームにバイオ医薬品開発（新規組換え型ワクチン）、バイオ医薬品等受託製造を展開。大規模生産事業モデルから、CMC開発・工業化検討段階に特化した事業モデルへの転換による再出発。ロジカルワクチンの開発、新規開発パイプラインの導入活動の推進・受託案件の共同開発化、アジュvant（免疫賦活剤）、製剤・デバイスなど周辺技術の取り込みを推進。塩野義製薬<4507>の持分法適用会社。2010年アステラス製薬とインフルエンザワクチンのライセンス契約を締結（2017年解約）。2013年ヤクルト本社とがん領域の抗体バイオ後続品共同事業化で提携（2017年解約）。2014年第一三共とノロウイルスワクチンの共同研究契約を締結。2017年新型インフルエンザワクチン開発失敗（治験断念）により事業中止、米国向け原薬輸出事業とバイオ医薬品受託製造（IHIと合弁会社UNIGEN）事業をアビ社に譲渡。2017年第一三共との共同研究契約終了、塩野義製薬<4507>と資本業務提携。2019年塩野義製薬によるTOBに伴い上場廃止へ。主要取引先は塩野義製薬。
取扱商品	・組換え季節性インフルエンザワクチン「UMN-101」、組換え新型インフルエンザワクチン「UMN-102」 ・組換えロタウイルスワクチン「UMN-103」、組換えノロウイルスワクチン「UMN-104」
企業URL	http://www.umnpharma.com/

(出所) マネックス銘柄スカウター

35

✓過去に長期間の安定した事業実績があるか

- ・長期的な業績には企業の稼ぐ実力が現れやすい。
 - ・長期的な実績があれば様々な危機を克服した経験も。
- 例えばリーマンショック時の業績をチェック

ツルハホールディングス（3391）の業績推移



(出所) マネックス銘柄スカウター

✓事業の社会的ニーズや他社のマネしづらさ

- ・いくら一時的に評価を受け業績が改善したとしても他社がマネできる事業は長続きしにくい
- ・社会的なニーズがあり、他社がマネしたくてもできない事業や強みを持っている会社が有利。
→巴菲特は“堀 (moat) ”と呼ぶ

ペッパー フードサービス（3053）の四半期業績推移

（出所）マネックス銘柄スカウター

決算期 ▲	区分 ▲	売上高 ▲	(前年比) ▲	営業利益 ▲	(前年比) ▲	経常利益 ▲	(前年比) ▲	当期利益 ▲	(前年比) ▲	EPS ▲
2014/12	本	2,828	86.9%	235	360.8%	237	330.9%	175	230.2%	8.4円
2015/03	1Q	3,166	84.8%	105	81.0%	104	85.7%	52	36.8%	2.5円
2015/06	2Q	3,694	97.5%	104	4.0%	107	7.0%	37	-53.2%	1.8円
2015/09	3Q	4,435	86.3%	124	-33.0%	122	-33.0%	63	-70.0%	3.0円
2015/12	本	4,903	73.4%	428	82.1%	427	80.2%	259	48.0%	12.4円
2016/03	1Q	4,958	56.6%	199	89.5%	199	91.3%	91	75.0%	4.3円
2016/06	2Q	5,326	44.2%	250	140.4%	246	129.9%	145	291.9%	6.9円
2016/09	3Q	5,673	27.9%	179	44.4%	174	42.6%	78	23.8%	3.7円
2016/12	本	6,376	30.0%	330	-22.9%	354	-17.1%	258	-0.4%	12.3円
2017/03	1Q	7,029	41.8%	576	189.4%	574	188.4%	361	296.7%	17.2円
2017/06	2Q	8,384	57.4%	626	150.4%	629	155.7%	322	122.1%	15.4円
2017/09	3Q	9,645	70.0%	484	170.4%	498	186.2%	266	241.0%	12.7円
2017/12	本	11,171	75.2%	612	85.5%	621	75.4%	383	48.5%	18.3円
2018/03	1Q	13,213	88.0%	768	33.3%	712	24.0%	361	0.0%	17.2円
2018/06	2Q	14,754	76.0%	723	15.5%	768	22.1%	354	9.9%	16.9円
2018/09	3Q	17,056	76.8%	903	86.6%	950	90.8%	441	65.8%	21.1円
2018/12	本	18,486	65.5%	1,469	140.0%	1,446	132.9%	-1,277	-433.4%	-円
2019/03	1Q	17,588	33.1%	178	-76.8%	195	-72.6%	585	62.1%	27.9円
2019/06	2Q	17,534	18.8%	225	-68.9%	157	-79.6%	-69	-119.5%	-円
2019/09	3Q	16,735	-1.9%	-359	-139.8%	-333	-135.1%	-2,438	-652.8%	-円



(出所) 各社ウェブサイト等

(2) 過度に割高でないタイミングで買う

- ✓ 予想PER20-30倍程度は1つの目安
- ✓ 現在のPERやPBRは過去の水準と比較
- ✓ 同様のビジネスをやっている会社で横比較する

✓予想PER20-30倍程度は1つの目安

- ・業種等で水準が異なるので一概には言えないが、東証1部の平均予想PERは15－17倍、ジャスダックで20－25倍程度
- ・PER100倍といった水準は長期間維持できない場合が多い。

✓ 現在のPERやPBRは過去の水準と比較

- ・ 現在のPERは、その銘柄の過去の水準と比較して高いのか低いのか？
- 成長性が鈍化していないのにPERが低下していたら投資好機の可能性

✓ 同様のビジネスをやっている会社で横比較する

- ・ 同様のビジネスをやっていて、1社だけ際立った成長率を長期間続けることは難しいため同業同士は同じようなバリュエーション評価になりやすい。
- 高いバリュエーションは危険、低いバリュエーションは好機の可能性

銘柄比較

[銘柄比較一覧](#)
[通期業績グラフ](#)
[四半期業績グラフ](#)
[株価指標グラフ](#)

表示項目選択 : 株価/基礎情報

投資指標

業績実績

直近四半期業績

業績予想

アナリスト評価

キャッシュフロー

業績進捗率

セグメント売上

セグメント利益

表示項目並び : 並び順リセット

お気に入り銘柄から選択

銘柄名 (銘柄コード)	スシローGH (3563)	×	くら寿司 (2695)	×	元気寿司 (9828)	×	カッパクリエイト (7421)	×	銘柄名・銘柄コード	銘柄名・銘柄コード
業種	小売業		小売業		小売業		小売業			
お気に入り登録 / 銘柄詳細	☆ / 株価を見る									
▲ ▾ 株価/基礎情報										
株価	10,000.0 円		5,310.0 円		3,190.0 円		1,512.0 円			
売買単位	100 株		100 株		100 株		100 株			
時価総額	2,901 億円		1,099 億円		283 億円		747 億円			
市場	東証1部		東証1部		東証1部		東証1部			
決算期	2020/09 (12か月)		2020/10 (12か月)		2020/03 (12か月)		2020/03 (12か月)			
会計基準	IFRS		日本		日本		日本			
株主優待	あり		あり		あり		あり			
▲ ▾ 投資指標										
予想PER	28.4 倍		27.4 倍		25.4 倍		83.1 倍			
PBR	6.13 倍		2.38 倍		3.05 倍		5.56 倍			
予想配当利回り	0.90 %		0.75 %		0.94 %		– %			
実績配当利回り	0.90 %		0.75 %		0.94 %		0.33 %			
ROE	22.58 %		9.06 %		24.62 %		1.20 %			
ROA	7.42 %		5.92 %		8.81 %		0.46 %			
自己資本比率	34.7 %		64.5 %		39.0 %		40.8 %			

(3) 決算発表で成長性に変化がないか確認

✓ 決算で3ヶ月ごとの基本業績をチェック

→ 売上高の伸び、営業利益の伸び、営業利益率など
変化が現れていたら決算説明資料等で要因を確認

✓ セグメント業績を確認して事業ごとの成長をチェック

→ 新たな成長の柱や主力事業の成長鈍化の確認

イオンモール（8905）の通期業績推移



(出所) マネックス銘柄スカウター

イオンモール（8905）の3ヶ月業績推移

（出所）マネックス銘柄スカウター

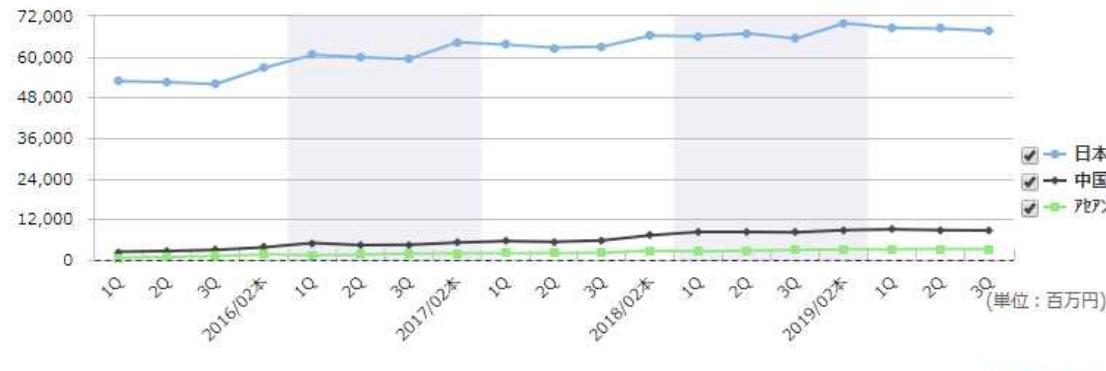
決算期 ▲	区分 ▲	売上高 ▲	(前年比) ▲	営業利益 ▲	(前年比) ▲	経常利益 ▲	(前年比) ▲	当期利益 ▲	(前年比) ▲	EPS ▲
2015/02	本	56,034	14.8%	13,371	11.0%	13,137	14.9%	8,577	47.7%	37.7円
2015/05	1Q	55,815	13.9%	11,116	11.6%	10,812	12.3%	5,058	-9.3%	22.2円
2015/08	2Q	55,890	14.8%	9,362	10.6%	8,847	5.1%	4,738	0.8%	20.8円
2015/11	3Q	55,999	11.6%	9,352	-7.2%	8,450	-15.3%	5,148	-9.1%	22.6円
2016/02	本	62,050	10.7%	14,040	5.0%	14,303	8.9%	9,695	13.0%	42.6円
2016/05	1Q	66,983	20.0%	11,310	1.7%	11,790	9.0%	5,655	11.8%	24.9円
2016/08	2Q	65,726	17.6%	8,970	-4.2%	8,824	-0.3%	5,510	16.3%	24.2円
2016/11	3Q	65,694	17.3%	9,613	2.8%	9,539	12.9%	5,407	5.0%	23.8円
2017/02	本	71,390	15.1%	15,042	7.1%	16,267	13.7%	11,955	23.3%	52.6円
2017/05	1Q	71,095	6.1%	12,104	7.0%	12,004	1.8%	6,948	22.9%	30.5円
2017/08	2Q	69,940	6.4%	10,478	16.8%	9,954	12.8%	5,817	5.6%	25.6円
2017/11	3Q	70,762	7.7%	10,674	11.0%	11,030	15.6%	6,911	27.8%	30.4円
2018/02	本	76,314	6.9%	15,955	6.1%	16,034	-1.4%	10,866	-9.1%	47.8円
2018/05	1Q	76,759	8.0%	12,654	4.5%	12,233	1.9%	7,897	13.7%	34.7円
2018/08	2Q	77,878	11.4%	12,035	14.9%	11,652	17.1%	7,731	32.9%	34.0円
2018/11	3Q	76,489	8.1%	10,799	1.2%	10,805	-2.0%	6,976	0.9%	30.7円
2019/02	本	81,850	7.3%	17,499	9.7%	17,516	9.2%	10,934	0.6%	48.1円
2019/05	1Q	80,690	5.1%	15,137	19.6%	12,862	5.1%	7,991	1.2%	35.1円
2019/08	2Q	80,380	3.2%	14,075	17.0%	12,295	5.5%	9,052	17.1%	39.8円
2019/11	3Q	79,503	3.9%	13,053	20.9%	11,626	7.6%	6,460	-7.4%	28.4円

イオンモール（8905）のセグメント業績推移（売上）

セグメント四半期業績推移

(事業別売上高)

業績 前期比 指数

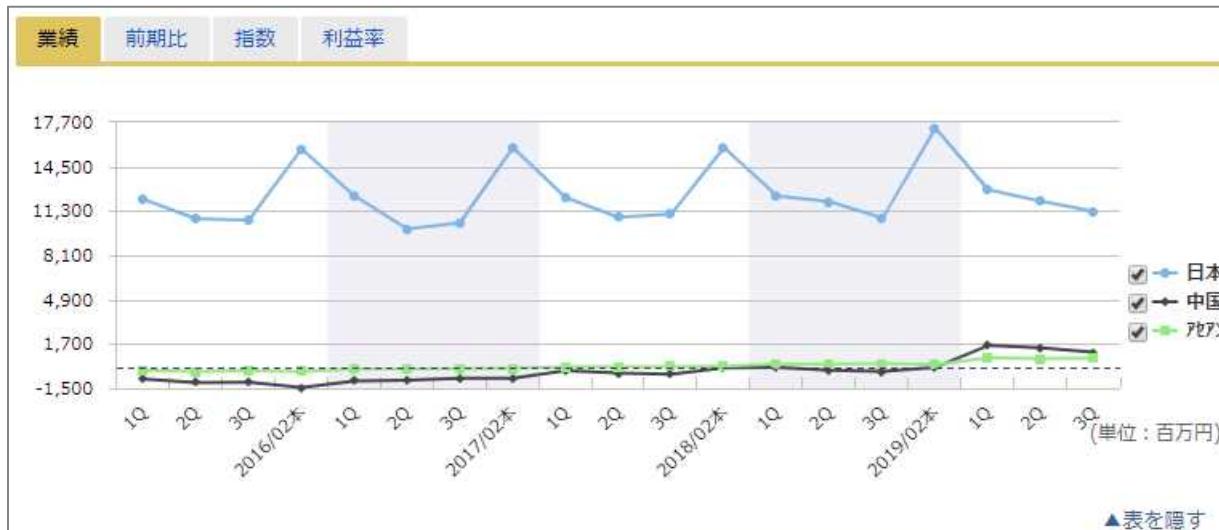


▲表を隠す

決算期 ▲	区分 ▲	日本 ▲	中国 ▲	アジア ▲	調整額 ▲	損益計算書 計上額 ▲	▲	モール ▲
2015/05	1Q	52,825	2,343	647	-	55,815	-	-
2015/08	2Q	52,497	2,555	836	-	55,890	-	-
2015/11	3Q	51,969	2,897	1,134	-	55,999	-	-
2016/02	本	56,715	3,711	1,624	-	62,050	-	-
2016/05	1Q	60,573	4,960	1,450	-	66,983	-	-
2016/08	2Q	59,814	4,359	1,551	-	65,726	-	-
2016/11	3Q	59,357	4,473	1,865	-	65,694	-	-
2017/02	本	64,341	5,126	1,922	-	71,390	-	-
2017/05	1Q	63,596	5,534	1,964	-	71,095	-	-
2017/08	2Q	62,624	5,354	1,962	-	69,940	-	-
2017/11	3Q	63,017	5,693	2,052	-	70,762	-	-
2018/02	本	66,262	7,315	2,737	-	76,314	-	-
2018/05	1Q	66,072	8,214	2,471	-	76,759	-	-
2018/08	2Q	66,934	8,263	2,682	-	77,878	-	-
2018/11	3Q	65,415	8,125	2,949	-	76,489	-	-
2019/02	本	69,937	8,767	3,146	-	81,850	-	-
2019/05	1Q	68,575	8,988	3,126	-	80,690	-	-
2019/08	2Q	68,336	8,813	3,231	-	80,380	-	-
2019/11	3Q	67,627	8,688	3,188	-	79,503	-	-

(出所) マネックス銘柄スカウター

イオンモール（8905）のセグメント業績推移（利益）



決算期	区分	日本	中国	アセアン	調整額	損益計算書 計上額	モール
2015/05	1Q	12,152	-834	-201	-	11,116	-
2015/08	2Q	10,736	-1,082	-294	-	9,362	-
2015/11	3Q	10,658	-1,078	-234	6	9,352	-
2016/02	本	15,776	-1,454	-284	3	14,040	-
2016/05	1Q	12,380	-970	-104	4	11,310	-
2016/08	2Q	10,002	-928	-108	5	8,970	-
2016/11	3Q	10,455	-778	-69	5	9,613	-
2017/02	本	15,879	-775	-67	4	15,042	-
2017/05	1Q	12,261	-220	59	4	12,104	-
2017/08	2Q	10,839	-415	48	5	10,478	-
2017/11	3Q	11,088	-480	62	5	10,674	-
2018/02	本	15,886	-17	79	6	15,955	-
2018/05	1Q	12,383	3	261	6	12,654	-
2018/08	2Q	11,967	-186	248	6	12,035	-
2018/11	3Q	10,798	-286	282	6	10,799	-
2019/02	本	17,267	16	208	7	17,499	-
2019/05	1Q	12,837	1,584	709	6	15,137	-
2019/08	2Q	12,010	1,422	637	6	14,075	-
2019/11	3Q	11,273	1,101	673	6	13,053	-

（出所）マネックス銘柄スカウター

5. 実際の分析事例のご紹介

2019年9月24日（火）

ダイヤモンド・ザイからの取材依頼
「オリエンタルランド」は
“買い”でしょうか？

オリエンタルランドの業績推移

通期業績推移



(出所) マネックス銘柄スカウター

▲表を隠す

決算期	売上高	(前期比)	営業利益	(前期比)	経常利益	(前期比)	当期利益	(前期比)	EPS	BPS
2007/03	344,082	3.4%	34,110	11.5%	30,187	13.1%	16,309	3.9%	49.6円	1,170.6円
2008/03	342,421	-0.5%	31,144	-8.7%	27,510	-8.9%	14,730	-9.7%	44.8円	1,179.7円
2009/03	389,242	13.7%	40,096	28.7%	38,824	41.1%	18,089	22.8%	55.0円	1,135.9円
2010/03	371,414	-4.6%	41,924	4.6%	40,758	5.0%	25,427	40.6%	77.3円	1,115.0円
2011/03	356,180	-4.1%	53,664	28.0%	52,887	29.8%	22,907	-9.9%	69.7円	1,088.9円
2012/03	360,060	1.1%	66,923	24.7%	66,238	25.2%	32,113	40.2%	97.7円	1,164.4円
2013/03	395,526	9.9%	81,467	21.7%	80,867	22.1%	51,484	60.3%	156.6円	1,314.7円
2014/03	473,572	19.7%	114,491	40.5%	112,671	39.3%	70,571	37.1%	214.6円	1,501.6円
2015/03	466,291	-1.5%	110,605	-3.4%	110,486	-1.9%	72,063	2.1%	219.2円	1,715.8円
2016/03	465,353	-0.2%	107,357	-2.9%	109,214	-1.2%	73,928	2.6%	224.8円	1,900.8円
2017/03	477,748	2.7%	113,152	5.4%	114,611	4.9%	82,374	11.4%	250.5円	2,036.4円
2018/03	479,280	0.3%	110,285	-2.5%	111,660	-2.6%	81,191	-1.4%	246.9円	2,195.9円
2019/03	525,622	9.7%	129,278	17.2%	129,439	15.9%	90,286	11.2%	274.6円	2,443.0円
2020/03予	503,870	-4.1%	108,880	-15.8%	109,930	-15.1%	76,240	-15.5%	231.9円	-円

取材の際にお話しした オリエンタルランドの強さ・魅力

- ・圧倒的なブランド力
- ・強力な固定ファン
- ・インバウンドの取り込みに成功
- ・着実に将来投資を実施
- ・競合になりうる企業の少なさ
- ・株主優待も非常に人気

インバウンドの取り込み



1. コア事業戦略 ハードの強化

III. 2020中期経営計画の進捗

海外ゲスト対応

日本への訪日外国人数と取り込み率



海外ゲスト数と海外ゲスト比率



出典:日本政府観光局(JNTO)の資料を元にグラフを当社にて作成

受入体制

- キャストコミュニケーションツール、国内情報ツールを改良
- 海外の文化を理解する為のキャスト研修を導入

集客活動

- 各国の特性に合わせたマーケティング活動を実施
- 販売チャネルの拡充

受入体制の整備と集客活動をバランスよく強化

(出所) オリエンタルランドの中期経営計画資料

将来に向けた投資の実施



1. コア事業戦略 ハードの強化

III. 2020中期経営計画の進捗

新規プロダクト

「ニモ&フレンズ・シーライダー」

2017年5月12日 オープン（投資額 約50億円）

「イツツ・ア・スマールワールド」

2018年4月15日 リニューアルオープン

新規デイパレード 「ドリーミング・アップ！」

2018年4月15日 スタート（投資額 約24億円）

新規ナイトタイムスペクタキュラー

「Celebrate! Tokyo Disneyland」

2018年7月10日～2019年4月26日

「ソアリン:ファンタスティック・フライト」

2019年7月23日 オープン（投資額 約180億円）

東京ディズニーランド

東京ディズニーシー

東京ディズニーリゾート
35周年

東京ディズニーランド大規模開発

「美女と野獣“魔法のものがたり”」

「ファンタジーランド・フォレストシアター」

「ペイマックスのハッピーライド」

「ミニーナースタジオ」

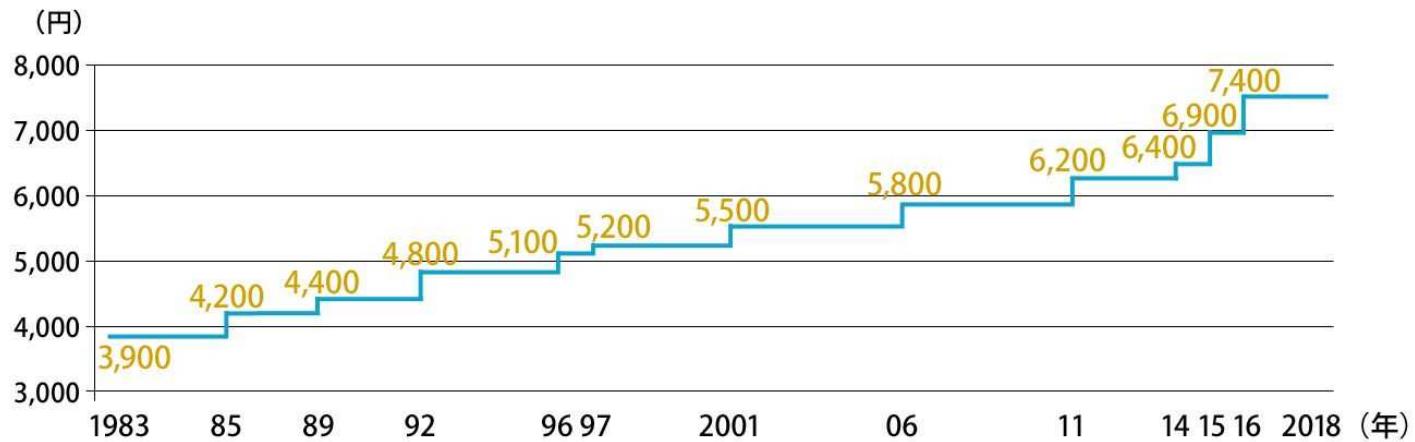
2020年春 オープン（投資額 約750億円）

“新鮮さ”と“快適さ”を高める新規プロダクトを導入

※2019年4月25日時点で公表している計画のみを記載

着実な値上げ

図表1 東京ディズニーランドの入園料の推移



(出所) プレジデント・オンライン

ディズニー 入園料値上げへ オリエンタルランド

オリエンタルランドは、東京ディズニーランドとディズニーシーの入園料を10月1日から値上げすると発表した。消費税率の引き上げにともない、1デーパスポートは大人が7,500円など、100円高くなる。

(出所) FNN PRIME

オリエンタルランド（4661）の株価チャート

2019年1月～9月



（出所）マネックス証券ウェブサイト

取材の際にお話した オリエンタルランドについての総評

日本の大企業で数少ない、将来に渡つての業績成長確度が高い優良銘柄であると考える。さらに株主優待も非常に人気であり需給面でも安心感が強い。

が、それでもPER80倍が長期的に許容される
とは思えない。

予想PERは1番高かった (時価総額1兆円以上)

対象銘柄数 19 件 1 ~ 19 件を表示

表示項目 : 検索条件 ▾

(出所) マネックス証券ウェブサイト

銘柄 ▲▼	現在値	取引所 ▲▼	時価総額 (億円) ▲▼	PER (予想) ▲▼	登録 +/-
OLC 4661 東1 サービス業	16,320.0 +2.45%	東証一部	57,935.8	80.21	<input type="button" value="+"/>
エムスリー 2413 東1 サービス業	2,548 +2.21%	東証一部	16,914.6	76.87	<input type="button" value="+"/>
イオン 8267 東1 小売業	2,048.5 +2.78%	東証一部	17,377.5	67.10	<input type="button" value="+"/>
第一三共 4568 東1 医薬品	7,162.0 +0.14%	東証一部	50,708.5	64.36	<input type="button" value="+"/>
ファナック 6954 東1 電気機器	20,090.0 +0.42%	東証一部	40,816.6	63.97	<input type="button" value="+"/>
日ペイントHD 4612 東1 化学	5,690 +4.79%	東証一部	17,669.4	44.65	<input type="button" value="+"/>
資生堂 4911 東1 化学	8,731.0 -0.07%	東証一部	34,948.0	42.04	<input type="button" value="+"/>
ファーストリテ 9983 東1 小売業	64,890.0 -1.29%	東証一部	69,732.8	40.66	<input type="button" value="+"/>
キッコマン 2801 東1 食料品	5,130 -0.77%	東証一部	10,023.8	36.90	<input type="button" value="+"/>
システムズ 6869 東1 電気機器	7,432.0 +1.88%	東証一部	15,260.3	36.25	<input type="button" value="+"/>
キリンHD 2503 東1 食料品	2,291.5 +1.82%	東証一部	20,569.6	35.29	<input type="button" value="+"/>

バリュエーションは同社史上 過去最高に割高だった

予想PER (会社予想ベース)



PBR (実績ベース)



(出所) マネックス銘柄スカウター

実際にザイに載った原稿

(出所) ダイヤモンド・ザイ 二〇一九年一二月号



オリエンタルランド（4661）の株価チャート

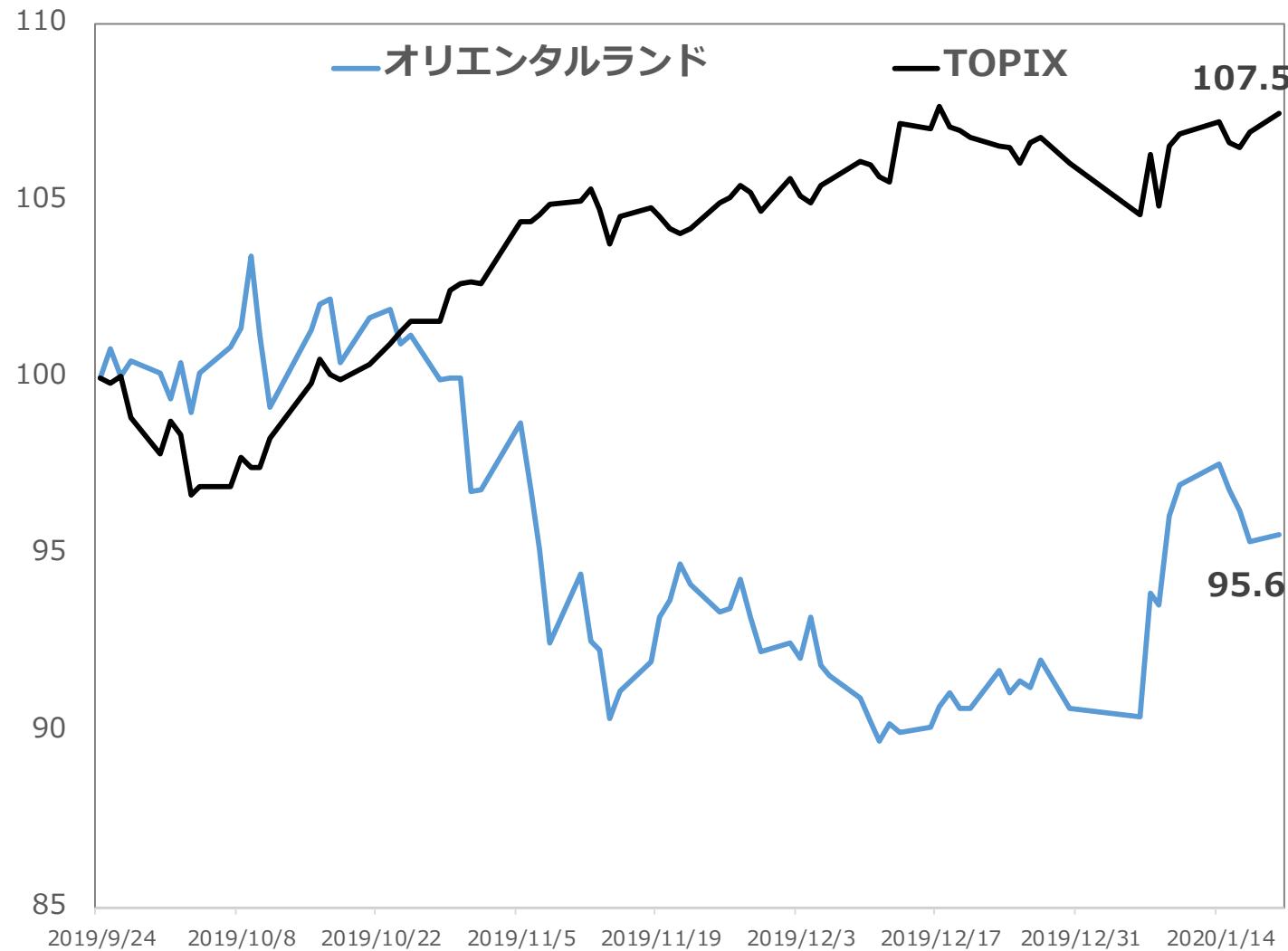
2019年7月～2020年1月

分析チャート



株価動向は・・・

オリエンタルランド VS TOPIX (2019年9月24日=100)



**どんなに素晴らしい銘柄でも
無理なバリュエーション（株価評価）
は長期間維持できない場合が多い。**

6.“バフェット流”を実践するために 作り上げたツール

マネックス銘柄スカウターとは

- ・企業の“本質的価値”的分析に役立つ
- ・自分も使いたいと思えるプロ仕様の高機能
- ・世の中にあるようでない、オリジナルなものを

という想いで開発したのが
「マネックス銘柄スカウター」
もちろんご利用は**無料**です。

マネックス銘柄スカウターの主な機能

- ・企業概要
 - ・2007年3月期以降の全期間の企業業績
 - ・企業が決算短信で発表しない3ヶ月ごとに区切った業績
 - ・過去5年間のPER・PBR・配当利回りの推移
 - ・表形式で各指標や業績を一覧表示する比較機能
 - ・銘柄ごとのアナリスト評価（レーティングや目標株価など）
 - ・適時開示情報を過去5年分ストック
 - ・企業の決算発表スケジュール
 - ・業績予想の修正履歴
 - ・10年スクリーニング
- など

実際の活用法を画面でお見せいたします。

マネックス銘柄スカウターの起動方法

マーケット情報 マーケットボード ニュース 株式ランキング スクリーニング ツール メールサービス 銘柄コード・銘柄名で検索

MY PAGE > 投資情報 > 個別銘柄 (サマリー) ご要望への対応状況

日経平均 日経平均先物 TOPIX 米ドル/円 日経JASDAQ
21,219.50 ▼459.18 -2.12% 21,220 ▲80 +0.38% 1,589.81 ▼30.64 -1.89% 112.632 ▼0.075 -0.07% 3,498.87 ▼53.30 -1.50%

7203 トヨタ自動車 E ヘルプ

東証一部 日経225採用銘柄 輸送用機器 信用・貸借銘柄 売買単位 100株 現物買 現物売 ワン株買

現在値 6,820.0 サマリー 指標 ニュース チャート 時系列データ 四季報 銘柄分析 株主優待 レポート

前日比 -38.0 (-0.55%) 15:00

始値 6,720.0 09:03

高値 6,839.0 14:00

安値 6,720.0 09:03

前日終値 6,858.0

出来高 5,380,200

売買代金 36,508,471,000

52週間値幅 6,396.0 7,806.0
10/25 1/18

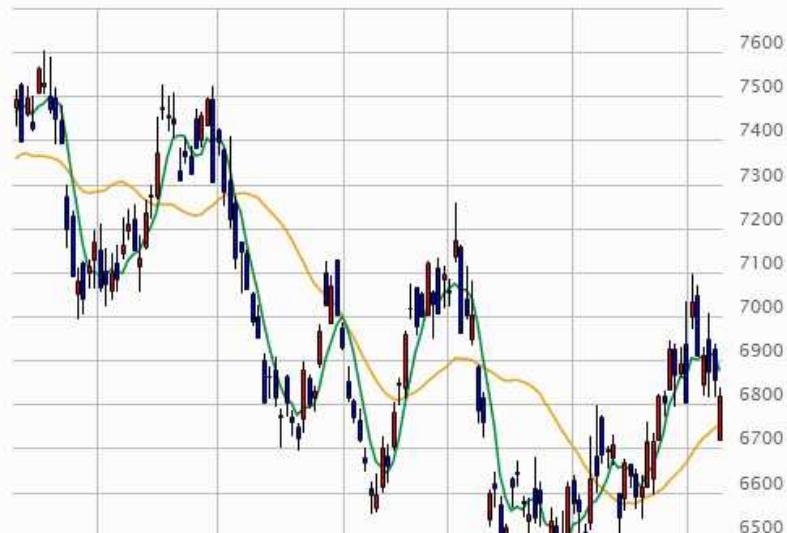
新着ニュース

本日の【MACD】買い/売りサイン】引け 買い= 17
銘柄 売り= 178 銘柄 (12月10日)
2018/12/10 15:40 みんかぶ

本日の【パラボリック】買い/売り・転換】引け 買い=

分析チャート 詳細チャート

期間 6ヶ月 足種 日足 ローソク(赤青) データ表示



気配

売気配	価格	買気配
1,601,500	OVER	
2,400	6,834.0	
500	6,833.0	
400	6,832.0	
14,900	6,831.0	
7,200	6,830.0	
3,800	6,829.0	
5,400	6,828.0	
2,700	6,827.0	
13,900	6,826.0	
100	6,825.0	
	6,818.0	11,100
	6,817.0	100
	6,816.0	4,400
	6,815.0	13,500
	6,814.0	11,700
	6,813.0	1,900

任意の個別銘柄の情報画面で「銘柄分析」をクリックしてください

月に1回オンラインセミナーを実施しております！



億り人&元ファンドマネージャーが伝授！

「銘柄スカウター」を活用した

2月19日20時開始 銘柄選び術



2月19日（水）20時スタート！

- ① 銘柄スカウターの基本機能、使い方のご紹介
- ② 達人投資家はどのように銘柄を分析するのか、事前にご質問い合わせた銘柄を元に分析方法を披露
- ③ お客様からのご質問に回答

国内上場有価証券取引に関する重要事項

＜リスク＞

国内株式および国内ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「国内株式等」）の売買では、株価等の価格の変動や発行者等の信用状況の悪化等により元本損失が生じることがあります。また、国内ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じることがあります。信用取引では、元本（保証金）に比べ、取引額が最大3.3倍程度となる可能性があるため、価格、上記各指数等の変動、または発行者の信用状況の悪化等により元本を上回る損失（元本超過損）が生じることがあります。

＜保証金の額または計算方法＞

信用取引では、売買金額の30%以上かつ30万円以上の保証金が必要です。

＜手数料等（税抜）＞

国内株式等のインターネット売買手数料は、「取引毎手数料」の場合、約定金額100万円以下のときは、成行で最大1,000円、指値で最大1,500円が、約定金額100万円超のときは、成行で約定金額の最大0.1%、指値で約定金額の最大0.15%を乗じた額がかかります。ただし、信用取引では、「取引毎手数料」の場合、約定金額が200万円以下のときは、成行・指値の区分なく最大800円が、約定金額200万円超のときは、成行・指値の区分なく最大1,000円がかかります。また、「一日定額手数料」の場合、一日の約定金額300万円ごとに最大2,500円がかかります。約定金額は現物取引と信用取引を合算します。（非課税口座では「取引毎手数料」のみ選択可能でござる。）単元未満株のインターネット売買手数料は、約定金額に対し0.5%（最低手数料48円）を乗じた額がかかります。国内ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。国内株式等の新規公開、公募・売出し、立会外分売では、購入対価をお支払いただきますが、取引手数料はかかりません。

＜その他＞

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「契約締結前交付書面」「上場有価証券等書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。

マネックス証券株式会社および説明者は、セミナーおよび関連資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではございません。情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではございません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではございません。

提供する情報等は作成時または提供時現在のものであり、今後予告なしに変更・削除されることがございます。当社および説明者はセミナーおよび関連資料等の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではございません。

銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。なお、セミナーおよび関連資料等は当社および情報提供元の事前の書面による了解なしに複製・配布することはできません。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

商号等：マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

~MEMO~

